

利 用 報 告 書

課 題 名 (英文名)	企業行動の国際比較分析
	International Comparative Analysis on the Behavior of Corporations -An Empirical Study-
利用者名	道明 義弘 (社会学部・教授)
1. 研究目的・内容 <p>日本および米国、カナダのデータベースを利用し、とくに財務データに基づいて企業行動を分析する。</p>	
2. 研究方法・計算方法 <p>日本政策投資銀行(旧開銀)企業財務データバンク、S&P'S COMPUSTAT のデータをパソコンを用いて処理し、SPSS,TSP などの統計処理を行うことによって、企業行動を解明する。</p>	
3. 研究成果 <p>日本企業とアメリカ・カナダ企業との行動の差異及び日本企業における OEM 効果について、下記に公表するような成果を得た。</p>	
4. 発表・出版実績または予定 <p>「OEM と雇用の流動化—検証：株式会社『日本』」道明義弘・伊藤研一奈良大学情報処理センター年報 No.10 (1999) 「日・米・加産業(業種)別自己資本経常利益率規定要因の推計—企業財務分析データにもとづくパネルデータ分析—<検証：株式会社『日本』>」立命館経済学、第 48 卷 第 1 号 (1999)、伊藤研一・道明義弘・井澤裕司 「日本の製造業：OEM 化のメカニズムとその影響—検証：株式会社『日本』—」奈良大学紀要第 28 号 (2000)、道明義弘・伊藤研一</p>	